

第2回 『学校の「男性性」を問う』読書会

なぜ「学校の男性性」という言葉を使う必要があるのか

2026 **04.26**日 10:00～12:00

zoomによるオンライン

講師 前川直哉さん

コーディネーター 菅野真文さん

司会 星野俊樹さん

運営 田中めぐみさん

私たちは「男性性」の語を用いることで、学校の男性優位構造（「男性＝標準」とする構造）を問い直そうとしてきました。

今回の読書会では、なぜ「学校の男性性」という言葉が必要なのかについて、話し合いたいと思います。

お気軽にご参加ください！



教室は男女平等か？

学校の「良いこと、目指すべきこと」の基準の多くが「男性性」と結びついている。わたしたちはそれを当たり前を受け入れていないか？学校の日常をジェンダーの視点から問い直す。

ご参加の方は、序章、第1章、コラム3を
読んでおいてくださると嬉しいです。

右の二次元コードにて、お申込みください。詳細は公式HPにて。

お申込み
お問合せ

教育科学研究会会員は、無料
非会員は、1000円となります。
非会員大学院生は、500円です。

教科研

<https://kyoukaken.jp/205500>

<https://kyoukaken.jp/205564>

